

会社の人間関係が良くなる

ペップな社長の

ペップトーク通信

2022年5月号 vol.5

【ペップトークを身につけるためにlet'sトレーニング！】

私達は新しい事を始めるとき、意識的であれ無意識であれ必ずトレーニングをしています。例えば自転車に乗れるようになるまでには練習（トレーニング）をされたと思います。学校での勉強でも同じです。例えば新しい漢字を覚える時には書き順から始まりその字を「漢字ノート」に何個も書きましたよね？

このようにスポーツなどの体を動かすことでも新しい知識や考え方を身に着ける場合でも同じです。練習（トレーニング）を積み重ねることで覚え身についていきます。ちょっと思い出していただきたいのですが新しい漢字を覚える時あなたはどうかされてましたか？

僕が小学校の時には「かきかた」というノートがありました。最初は薄い字で書いてある書き順をなぞって次は自分で書いていく。自分で書いていくときは書き順など注意しながら集中して書く。このように新しい字を覚える時最初は意識し、集中し、慎重にしていたやがて慣れてくると意識しなくても自動的にその字が書けるようになっていきます。

新しい事を身につけるステップでも同じで、①全く知らない状態<知らない>、②その事を初めて知った<知っている>、③知って間もないころ意識してすればちゃんとできる<できる>、④身について意識しなくても自動的にできる<やっている>、という4段階の階層でステップアップしていきます

①知らない②知っている③できる④やっている

ここで大切なのは「③できる」の段階です意識していればできるけど無意識だと前の状態に戻ってしまう。ペップトークだと意識している時は「とらえ方変換」できるけど意識していないと愚痴になってしまう。意識しているときは相手の「できている所」が見れるけれど意識していないとダメ出しをしてしまう・・・。

でもうまくいかなくても落ち込まないでください。それでいいのです。何故なら「練習・トレーニング」だから。「練習・トレーニング」には100%完璧を求めなくていいのです。どんな事でも習ってすぐに出来る人はいません。新しいことを習得しようとしたら最初は意識して、意識して、意識して実行する。うまくいかなかった時には笑い飛ばすくらいでいいのです。大切なのは繰り返し思い出しながら使っていくということ。それを続けていけば必ず身につきます。

私もまだまだその過程です。

みなさんもペップトークを学び、常に自分や周りを励ますドリームサポーターになりましょう。

社内コミュニケーションに悩んでいる
経営者、人事担当者におすすめです

ペップトークを実践している
「現役社長」が講師の
応援文化構築研修

- ☑社長(幹部)は頑張っているけど部下がついてこない
 - ☑社長(幹部)が突っ走ってついていけない
 - ☑人間関係がギクシャクしている
 - ☑会社を助け合う、応援し合える雰囲気になりたい
- などのお悩みはございませんか？

豊清工業株式会社社長の石原利彦が、2018年に会社を変える決意をしてから現在までの「応援文化構築」の道のりを踏まえた研修をお届けします。

<講師プロフィール>

石原利彦

・豊清工業株式会社 代表取締役
・日本ペップトーク普及協会認定講師
少年野球チーム旗の台クラブのヘッドコーチとして
チームにペップトークを導入。
楽しむ野球により無名のチームを
東京都大会優勝、全国大会ベスト8に導く。
代表を務める豊清工業株式会社では
社内のコミュニケーション活性化のために
ペップトークを導入し会社の雰囲気を変えさせ
コロナ禍でも過去最高売上を達成する。
「社員が楽しく本気で仕事に取り組む文化」
「社員同士が自然に応援し合える『応援文化』」
を構築中。



お問い合わせ:豊清工業株式会社 業務課岩渕
043-498-3943 info@hosei-kohgyo.co.jp